

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	振興センターの除雪等について	松園振興センターは駐車場が広いが除雪の予算がない。年5回程度(5万円/回)で25万円ほどの予算をお願いしたい。今は小さな除雪機で対応している。 また、建物の北側のほうに雪が落ちて隣の家にまで影響するので、雪止めをお願いしたい。	指定管理の経費は一定の基準で算定しており、若干の除雪費用が含まれているとご理解いただいているが、建物の構造、広さも勘案して算定する必要もあると思うので検討させていただく。 雪止めについても屋根の耐久性と併せて検討する必要があるので、調べさせていただく。
2	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	技術振興会館の補助対象期間について	技術振興会館は補助金で作られたと聞いているが、いつの段階で補助金の対象から外れるのかお聞きしたい。	技術振興会館は、二枚橋の第一工業団地、湯本の第二工業団地を作った際に、誘致した企業に勤める皆さんの研修施設として国の補助金で建てた施設で、昭和63年10月に建築してオープンしたも。耐用年数は38年で現在26年経過しており、残りは12年である。 補助金6,500万円と起債、一般財源を合わせて1億7千万円ほどで建築した。現時点で用途変更する場合は、まだ補助金の返還が必要。
3	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	コミュニティ会議の継続について	コミュニティ会議という地域解決型のシステムで動いているが、松園地区はうまく動いていると感じている。ぜひともこのシステムは継続をお願いしたい。	コミュニティ会議については見直すということで各地区の代表者と話し合いをしている。継続を前提にして見直しをしている。コミュニティ会議は面積も世帯数も交付金額も地区によって違いがある。 まちづくり交付金は基本的に市の予算で、2億円のうち3,500万円くらいは人件費や事務費で、皆さんが使えるお金は約1億6,500円。ほかに指定管理で約8,000万円、振興センター勤務の市職員の人件費が合わせて約2億1,000万円かかっている。つまり、1億6,500万円の交付金を払うために4億9,000万円使っていることになる。市の職員を引き上げてコミュニティ会議で非常勤を雇うほうが効率的ということも考えられる。交付金とはいうものの皆さんのお金なので、今の使い方でも本当にいいか考えていただきたい。 人件費や事務費などの必ずかかる経費やインフラ整備にかかるハード事業の経費など整理して検討しなければならない。
4	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	都市政策課	空き家対策について	全国では昨年10月末の空き家戸数が820万戸、住宅総数に占める割合が13.5%、岩手県では7万6,300戸で13.7%ということ。 今後高齢化社会になるとますます空き家が増え、近所迷惑になると思われる。空き家対策をどうするのか。	市では空き家の所有者を調べて通知し対処をお願いしている。国の法律を見極めて、そのうえで花巻市でプラスして何かができるか考える。今は国の動向を注視している状況。
5	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	スポーツ振興課	屋内プールの建設について	市内には通年で泳げるプールがない。歩行訓練や健康づくりのためにも通年で使えるプールを作ってほしい。	建設や維持にかかる費用の面からも難しいと思う。
6	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	市民登録課	住居表示について	例えば松園四区の松園町で340番地の家の隣が680番地というように全然わからない状況。これから協議会を持ち、なんとか住居表示を進めていきたいので、市の協力もお願いする。	以前に松園町地区の住居表示の実施について協議を重ねてきた経緯があり、平成19年度に住居表示アンケート調査を行った結果、住居表示の実施に賛成する世帯が約37%、現状のままという世帯が約60%だった。「現状のまま」を望む声が多かったことから、当面、松園地区の住居表示の取り組みは難しいと判断した経過がある。今後、地域の状況や住居表示への要望を踏まえ適切に対応していくとして、地域の気運の醸成をはかるための勉強会や説明会などに担当職員を派遣するなど地域の要請に応えていきたい。
7	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	市民登録課	住居表示について	これまで生きてきた歴史があるので、住民の中で十分な話し合いが必要だと思う。そのうえで市にも支援していただきたいと思う。	地域に住んでいる方々が議論を重ねることが大事だと思うので、そのうえで住居表示に関する勉強会などには協力していきたい。
8	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	避難所までの道路標識について	遠野市には「避難所はこちら」という標識があり、安全と安心なまちづくりのために標識が統一されている。松園四区の場合は、イル・クオーレのところに1か所「避難所」という標識が立っているが、何年か前に消防団の人が設置してくれたもの。それ以来何もしていない。	花巻市内では、合併前に消防で大規模火災が発生した場合の避難所ということで、街なかを中心に47か所に案内看板が設置されている。様々な災害に対応すべき避難所の設定があるので、そこへ誘導する必要がある。特に中心市街地はアパートも非常に多く、自主防災組織に入っていない住民の方も多いため、避難所への誘導案内看板が必要だと考えている。まず、市内の実態を担当課が調査し始めたので、配置場所等検証しながら計画的に整備していきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	行政区ごとの指定避難場所 割り当てについて	どこの指定避難所にどこの行政区が入るかということが明確にされていない。実際に地震や災害が起きた時、避難所がはっきりしていないと市民がうろたえる。防災計画に基づいてしっかり整理をお願いしたい。	松園地区の場合、松園一区から五区、新田の6つの行政区の避難所として振興センターを防災の拠点と考え、実際に避難する場合も、振興センターは必ず開ける。そのほか総合体育館、花北中学校、花北地区社会体育館を避難できる施設として市が指定している。 災害が小さければ割り当てした避難所に入れるが、松園地区は人口密集地であり、先に述べた4つの施設に全員が避難することは現実的に不可能で、防災計画においては大まかな設定をしているのが現状。具体的なプランを作る前に大きな災害がきた場合は、市の対策本部から自主防災組織または振興センターを通じて避難所への誘導をすることになる。地域の皆さんと引き続き話し合いをしていきたい。
10	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	コミュニティ単位の総合防災 訓練について	コミュニティ単位で防災訓練をしてはどうか。小さい行政区単独では総合防災訓練はなかなかできない。コミュニティ単位で実施して避難場所の確認などしっかり整理されれば市民も安心だと思う。	今年度は11月に自衛隊で大規模な災害訓練を予定している。これに花巻市も参加し、内陸と中継基地となる遠野市と連携して沿岸部を支える訓練ということで計画を作っている。今回は花巻温泉・台温泉地区の自主防災組織に声掛けし、その地区が孤立した場合の訓練を予定している。 来年度以降は、27の振興センター単位に地域の実情に合った訓練を進めていきたい。地域と市との情報伝達や地域における安否確認、避難所運営など実態に応じた訓練を考えていきたい。
11	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	水害について	1日の降雨量が100mm程度であれば琵琶沢川の南側で浅沢と水がぶつかるころや桜台小学校から坂を下りてきたところの水路は1日の降水量が300mmを超すと溢れる可能性がある。 水害の心配をしている人はあまりいないかもしれないが、1日の降水量が多ければ想像を絶することになると思う。	雨量によっては側溝が溢れたり低いところに水が溜まったりして水害が起こることという認識しているし、皆さんにも認識を持っていただきたい。
12	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	防災危機管理課	防災に関するリーダーについて	防災に関して、区長や自治会長などの肩書だけでリーダーを決めつけるのはいかがなものかと思う。相応の訓練や研修を受けた方でないと、大変大きな問題になるのではないかと思う。	職員も全国で行われる防災の研修に派遣して専門的勉強をしているし、自主防災組織の皆さんにも県の消防学校で行われるリーダー研修に参加していただいている。消防のOBの方々にも地域に入って協力してもらおうとお話しているので、皆さんで協力してやっていきましょう。
13	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	都市政策課	南新田ショッピングセンターの 進捗状況について	ショッピングセンターの進捗状況はどうなっているか。	現在は造成工事に着手したところ。大規模な開発行為のため県の許可が必要で、H26年2月3日に許可がおりた。H25年7月に開発業者が住民説明会を開いた際には、H26年8月にオープン予定という話だったが全然間に合わない状況。市には急がせる権限はない。 開発業者によると、今後のスケジュールは、造成工事をH26年10月までに終わらせ、その後店舗の建築に入る。大規模小売店舗立地法の届出をしてから2か月以内に地元説明会をすることに法律で決まっているので、9月末から10月上旬に開催したいということだった。開催の周知については、周辺3kmくらいの地域へ新聞の折り込みチラシを配布する予定。 届出から4か月間は計画を縦覧することになっているので、市民の方々から意見を伺う期間となる。今のところオープンの目標はH27年3月か4月とのこと。
14	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	地域づくり課	振興センターの講座について	松園は地の気がいいので気功の講座を秋もやりたいが、春の分しか講師料が出ないのでもう少し出してほしい。	
15	H26.8.4	市政懇談会 (H26)	松園	生活環境課	市街地のカラス対策について	花巻はカラスが多い。何か対策はないか。	農林部では農作物等への被害防止のために有害鳥獣の駆除をしている。市役所周辺もカラスが多く、爆竹などで追い払っているが、なかなか抜本的な対策が難しい。東北電力に協力してもらって電線にとまれないようにする方法もある。 市街地では鉄砲で撃つことはできない区域なので、まずは周辺に追い払うことになる。田園地帯では駆除している。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	地域づくり課	花西地区に新たな社会体育館、集会所を設置することについて	花西地区まちづくり協議会では、以前花西地区に社会体育館及び花西振興センターに代わる新たな集会所可能な施設の設置について要望し、市でも前向きに検討していると聞いていたが現状はどうなっているのか。	以前から要望があり、市から設置に前向きな回答をしたところである。現在、市にある様々な公共施設について、国からの指導もあり長寿化も含めた管理計画を策定しなければならない状況であり、花西地区の新規要望施設についての計画は立っていない。いずれ必要との認識のもと、今後の方向性について内部でも検討し、地域の皆さんと協議をさせていただきたい。
2	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	長寿福祉課	特別養護老人施設及び認知症向けの施設整備について	老人保健施設については、デイサービスやショートステイなどが増えているが、特別養護老人施設が少ない。現在100人待ちの施設もあると聞いている。今後の計画はどうなっているのか。また、認知症の方が増えているが、認知症の方のための施設整備は考えているのか。	特別養護老人ホームの入所申込者には、複数の施設に申し込まれている方や将来、介護度が高くなった場合に入所を希望している介護度の低い方も含まれている状況である。 平成25年3月末現在、在宅待機でかつ早急に入所が必要な方は75名(平成26年3月末現在93名)だったが、平成26年度に地域密着型特別養護老人ホームが2施設(58床)開設されたことから、相応の待機者の解消が図られたと認識している。 高齢者数は、ある時期をピークに減少していくという人口動態の側面(花巻市で65歳以上の高齢者人口のピークは平成32年。75歳以上は平成42年。)もあるので、平成27年度からの新たな介護保険事業計画においては、認知症の方のための施設も含め、中長期的な需要を把握したうえで施設整備を進めていく。
3	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	総務課	消防団組織の見直しについて	花巻市総合計画の中に「消防団組織の見直し」とあるが、現在、旧町内(第1分団)には屯所が5か所しかない(市内には138か所)。花西地区の住宅も増えてきており、星が丘、桜台、松園を含め、分団の在り方及び屯所の設置についてどう考えるか。また、消防後援会等各地区で分団に対する支援状況が異なる中、市当局で支援の在り方をどう考えているのか。	消防団員の確保や活動内容等消防団の在り方については全国的な課題であり、市でも昨年10月に消防団の持続可能な在り方について検討するため、消防団の組織見直し委員会を発足した。その中で、質問にあったような内容を検討しているが、旧町内(第1分団)については、消防団に加え常備消防でカバーするという考え方もあると思う。また、分担金の有無や支援体制等消防団に対する支援については、地区によっていろいろな形態があることは認識しているが、各地区にお任せしている状況である。いずれ、消防団については、地域の方々と協議しながら、組織見直し委員会で慎重に検討していきたい。
4	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	地域づくり課	まん福の活用について	旧まん福については、市中心部の拠点としての活用を期待して、平成24年度に花西地区で消防用設備改修工事の費用を一部負担した経緯があるが、現状と今後の活用はどうなっているのか。県からOKをもらって進めてきたのに、今年の5月に県の指導で現在の状況では活用できないというのはおかしくないか。活用するとすれば、今後どれくらい費用がかかるのか。	市では、県と協議し、費用をかけずに集会所として活用することを目指したが、結果的に解釈が甘く、スプリンクラー、排煙窓の設置等大規模改修が必要との指導を受けた。一方で歴史的に価値がある建物であれば、条例を整備により保存活用は可能とのアドバイスを受け条例整備を検討したが、これについても安全対策が必要であるとの指導を受けた。安全対策についての費用は、歴史的に価値のある屋久杉などの保存を考えスプリンクラーを整備した場合で1億円、不燃材を張るだけでも数千円かかる見込みである。今後、経費をかけて集会所として活用するのがいいのか、ほかの活用方法があるのか、専門家や市民の皆さんの意見を聞きながら検討していきたい。
5	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	生涯学習交流課	旧厚生病院の今後の利用について	こどもの城等の複合施設について旧厚生病院跡地を第一候補として検討していると聞いていたが、ヒ素がでたということで、今後どうなるのか。見通しを教えてください。	旧厚生病院の跡地の活用について、図書館、中ホール、こどもの城を複合施設として設置を計画していたが、県の調査でヒ素が検出され現在詳細な調査をしている。また、複合施設の設置を検討する中で、駐車場の台数が少ないことから、3つの施設を整備するのは難しいと考えている。旧厚生病院跡地が複合施設の第一候補であることは変わりはないが、こうした状況を踏まえ、地域の皆さんと協議をしながら見直しをしていく。 県ではヒ素が出た段階で早くも平成28年10月にしか引き渡しができないと話していたが、予想以上にヒ素があることがわかり、もっと時間がかかると思われる。こどもの城で一番重要なのは障がい児の施設。現在の計画では障がい児が遊べるスペースがない。そこも含めて考え直す必要がある。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	花巻図書館	インターネット等を利用した本の貸し出しについて	本を借りに行きたくても様々な事情で借りることのできない人がいる。高齢者でも携帯電話やパソコンなどインターネットを使用する人が増えてきているので、本の貸し出しにインターネット等を使ったソフトの充実を検討してはどうか。	図書館での本の貸し出しについては、移動図書館等で地域に出向いているサービスもあるが、ご提言にあった時代に合ったサービスの拡充は重要と思われる。多くの方が利用できる環境づくりについて検討していきたい。
7	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	秘書政策課	人口減少対策について	人口減少問題に関し、市の考え方を聞きたい。	人口減少については、市でも大きな課題ととらえている。対策としては、大まかに言って出生率の向上と地方から東京への転出を止めることの2つ。現在、市では具体的な対策をワーキンググループを作って検討している。その中で、先進都市の対策などを参考に、これから何ができるかじっくり考えていきたい。
8	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	秘書政策課	人口減少対策について	人口減少問題について、企業誘致だけでなく、市内中心部に高齢者向けの施設を整備するなど都会から高齢者を花巻に呼び寄せさせる視点もあっていいのではないかと。	ご提言の内容は検討課題に入れている。大迫には元教員住宅があるし、東和には農地つきの住宅がある。そういう施設を活用して都会から花巻に来てもらうのが一つ。また、空き家も多くあるので、こういった空き家を活用するのも対策の一つである。それから現在、中心市街地の再開発事業に国の制度を活用できないか検討しているところであり、その中で高齢者向け住宅というのは考えられる案の一つだと思う。
9	H26.8.5	市政懇談会 (H26)	花西	防災危機管理課	危険地域のマップについて	8月1日付で配布された危険地域のマップの情報が古く、また見えづらい。まったくなくなっていない。部長は確認したのか。このマップで危険箇所を確認しようと思ってもできない。お金をかけてやるのではなく、区長など地域の人と協力してマップを作成したらいいのではないかと。	マップをすぐ直せるかという費用の面もあるし難しい。防災に関してはマップだけでなく、実際に訓練が必要。マップに加えて訓練を行っていく。マップの作成について、住民の方に協力していただけるのであれば、もちろんそういうやり方もあると思う。
1	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	こども課	学童クラブについて①	総合計画のまちづくり基本施策に子育て支援の充実を掲げ、地域と連携した学童クラブの運営を述べているが、中期プランでは学童クラブについて触れていない。総合計画で述べている地域と連携した学童クラブの運営について具体的にどう考えているのかお伺いしたい。	学童クラブ事業の実施主体は市であるが、運営については市の委託を受けて地域の学童クラブ運営協議会、保護者会等が行っている。そうした意味で地域との連携は図られていると考えている。今後も地域の関係団体の協力をいただきながら、地域と市が連携して事業を進めていきたい。 中期プランに載っていないから学童クラブの事業をしないということではなく、子育て支援をしていくうえで今までやっていた事業はすべて継続していくこととしている。 総合計画の中で、平成26年から28年までの3か年の中期プランは、具体的な項目で決まっていないものもあるが、今年度事業としてすでに進めている事業もあるので、今後3年間の市の財政状況も示しながら、こういう事業に取り組んでいきたいという内容を素案という形で公表している。子ども子育てプランの中で主要事業が具体化してくると中期プランに載せることができるが、今の段階では地域と連携した学童クラブの運営という言葉しか載せられない状況である。
2	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	こども課	学童クラブについて②	国の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を踏まえた市条例を定めるとあるが、その定める範囲はどういうものか。子ども子育て支援新制度にかかるパブリックコメントを実施していたが、パブリックコメントの取り方について、求めている条項の市の基準のほとんどが国の基準どおりというものになっている。これでは市民は意見の出しようがないと感じる。	児童福祉法の改正に伴い、基準となる市の条例を9月議会に提案する予定としている。説明会やパブリックコメント等でいただいた意見を反映させ、皆さんが運営しやすい基本的な方針を決めていきたい。 学童クラブの事業者の意見をよく聞くことで進めていたが、十分ではなかったようなのでもっと徹底してやっていく。国からの基準が示されたのも遅れ、市の基準づくりの一つ一つの検討が足りなかったかもしれない。今後の方向は皆さんと相談しながら進めていきたい。
3	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	地域づくり課	宮野目学童クラブへの通路等について	宮野目社会体育館の裏から学童クラブまでの通路は未舗装で、市に砂利敷を行ってもらっているが、同じところに穴があき利用者からの苦情がある。冬の除雪は振興センター職員が行っているがどこが管轄か。また、小学校との境の排水路に落ち葉が詰まり雨水があふれることがある。	振興センター、社会体育館は総合政策部地域づくり課が担当である。振興センターの職員が間に入って一生懸命やっている実感がわかったが、現地を把握のうえ対応させていただきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	農政課 農村林務課	花巻市の農林予算について	花巻産の農畜産物を積極的に売るという市長自らのトップセールスの姿勢に対し感謝する。 農林予算のうち、農業と畜産分野について伺いたい。	市の農林水産予算全体は25億7千万円、うち農業関係24億3,500万円、畜産関係6,300万円ほどである。 畜産は牧野関係の放牧地の草地更新関係と畜産物の価格安定の関係予算が大きい。 農業の部分では国が示す新たな農業・農村政策に対応するため、具体的には、担い手育成支援事業に5,800万円、農地有効活用事業に6,900万円、農村環境整備事業に2億3千万円、花巻米生産確立支援事業に5,600万円などを予算措置している。
5	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	農政課	花巻市の農業振興に向けた対策について	JAIいわて花巻農業振興連絡会と農業政策プロジェクトチームへの市の関わりや支援について伺いたい。	JAIいわて花巻農業振興連絡会は、JAIいわて花巻管内の農業振興を図るため、地域農業の振興について市町間での新たな農業・農村政策に対する意見交換や連絡調整を行っている。 農業政策プロジェクトチームは、JAの役員・職員で構成された組織でJAが関わる農政課題について検討する組織と伺っている。出された課題等は一緒に情報共有しながら、課題解決に向け検討を続けている。
6	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	防災危機管理課	防災活動中の事故等について	自主防災組織の役員をはじめ関係者が住民の安否確認のため訪問中、あるいは避難誘導活動中に人身災害を受けた場合の救済措置はどうなっているのか。公務災害に準じた扱いができないか。	市が加入している全国市長会市民総合賠償保障保険において、安心して自主防災活動に取り組めるよう、防災活動中に事故に遭われた方に対しては入院と通院の補償金をお支払いする制度を設けている。 市職員の公務災害と同じように休業補償や医療費をすべて保障するような補償ではない。自主防災の活動は公務災害の適用はされないのが実態である。 保険料を払うよりも場合によっては市で見舞金制度を作ったほうが良いかもしれない。他市の例も調べ考えてみる余地はあるように思う。
7	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	生涯学習交流課	自治公民館整備事業補助金について	本館地区の借家(アパート等)居住者の方は170世帯、店舗や事業所等を含め約半数の方から自治公民館整備の協力金は期待できない。 借家(アパート等)居住者の多い行政区・自治会に対し、花巻市自治公民館整備事業補助金交付要綱に特例を設け、補助金の増額を可能にすることを考えてもらえないか。	現行の制度の補助額は、新築または改築の場合、経費の1/3以内で、延床面積に応じて限度額300万円から420万円。増築、改修の場合は30万円を超える事業に要する経費の1/3以内で限度額180万円である。市内に自治公民館は288箇所もあり、補助率や補助額の限度額を上げることがなかなかできない実態である。 予算は限られているが、地域の実態を踏まえて今後考えてまいりたい。 本館地区はアパートが多いかもしれないが豊かな地域である。他の地区と比べて優先順位が高いとは思えないので、この基準の中でやってもらいたい。
8	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	下水道課	下水道事業の進め方について	下水道工事箇所・予算が確定後、地元での説明会があり、将来にわたって不用と思われる工事箇所があった。事前に地元と相談するといったことが必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。	宅地化の見込みがないとのご指摘をいただき、現地を確認し関係地権者のご意向をうかがった結果、宅地予定のない区間は工事を見合わせることにした。 今後は、地域の方々、関係者とよく協議しながら整備を進めていきたい。
9	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	都市政策課	空き家対策について	空き家は火災や引き込みなど事件の温床になっていると思う。当地区でも数か月にわたり空き家に出入りする人物がおり、警察の力を借りて解決した事例も起きた。 空き家の処分が進まない理由に、空き家を壊し更地にすると固定資産税が6倍に増えることからとも言われている。 市ではどのような対策を取っているのか伺いたい。	平成24年から市内369件の空き家を調査した結果、52件が管理不十分な緊急対策を要するという数字が出ている。建物の外壁が飛散しそうな喫緊に対策が必要な物件は、都市政策課や道路管理者等が消防本部と連携しながら対策を講じている。 空き家対策に関する法律は、秋の臨時国会で法案化される予定で、その法案の中身を見ながら対応していきたいと考えている。 市は誰が所有者か概ね把握しており、空き家に出入りして危ないなどの情報は所有者に連絡するので、相談していただきたい。 固定資産税の取り扱い、空き家を壊さなくても危険なものは6分の1課税をやめるような話も出ている。国の法案の内容を見て市で何ができるか考えていきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	道路課	小舟渡矢沢線の歩道整備について	小舟渡矢沢線下似内地区の歩道整備については、両側歩道3.5メートルの計画で変更はないか。また、現在の進捗状況を教えていただきたい。朝晩の通勤ラッシュも大変な状況、早期に歩道を作っていただきたい。	地元の方々と別ルートの検討もしたが、最終的に現道の両側歩道3.5メートルで整備を進める計画である。交通量の変化に伴い、都市計画道路の整備計画の見直しをした路線もあるが、小舟渡矢沢線については当初計画どおり両側歩道3.5メートルで今後用地測量を進めていくこととしている。
11	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	小中学校課	学校給食の食材について	学校給食の食材は、米については地元産が供給されていると伺っているが、野菜、果物類は使われていない。子供たちにぜひ地元産の旬の野菜、果物を食べさせたいので、学校給食の食材に使っていただけないか。給食センターで地元の食材を使っているところは何か所あるか伺いたい。地元の食材を子供たちに食べてもらいたいので、やり方を工夫するなど検討していただきたい。	直接に産直と契約し、放射能の測定も行い地元産を使っているのは東和の給食センターで、大迫も一部地場産品を入れている。学校給食の場合、かなり前に献立を作り、まとまった量を納入していただく必要があるため、すべての給食センターで可能かわからないが、給食センターの栄養教諭の方と協議するなど検討したい。
12	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	道路課	防雪柵の整備について	宮野目中学校からたもり空港店までの道路は、冬に除雪をしても吹き溜まりができ子供たちが通学に苦労している。防雪柵を作っていただけないか。回答は知らない。	
13	H26.8.19	市政懇談会 (H26)	宮野目	総務課	活力あるまちづくり表彰について	活力あるまちづくり表彰の地域振興部門において、5名の前コミュニティ会議の会長が表彰を受けるがその基準は何か。宮野目地区のコミュニティ会議会長は3期5年務めたが対象とはならないか。	活力あるまちづくり表彰の基準は10年であるが、今回の表彰では、コミュニティ会議の立ち上げにご苦労いただき3期6年以上務めていただいた5名の前会長さん方を特別に基準を緩めて表彰するものである。
1	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	観光課	宮沢賢治を活用した観光について	賢治さんを活用した観光は1泊2日くらいでどっぷり浸かってもらうような内容にしないと観光客はこないのではないか。宮沢賢治記念館を見て終わりでは産業にはならないと思う。記念館などの施設見学もいいが、賢治さんのものを表現している童話劇、獅子踊り、神楽なども見れるような内容にしてはどうか。食べ物も魅力的でないとお金を出してくれない。お土産も花巻のお土産といえばというものを開発しなければならない。そのような観点から考えていかないと産業としての観光が成り立たないのではないかと。また、SLを使った広域的な観光も考えられるかもしれない。	JTBの調査を見ると、宮沢賢治のおかげもあり花巻は全国的に知名度が高いが、逆にそのほかの資源がない。賢治さん目当ての観光客が多い。なんとかが観光経済に役立つように賢治さんを活用させていただきたい。同じくJTBの調査では食べ物の評価は割と高い。地産の食材がたくさんあることで評価が高いが、インバクトのあるものが必要。お土産については、旅館組合などで開発しているケースあるし、そういう動きが確実に増えてきている。市の職員だけで考えてもそんなに素晴らしいアイデアは出てこないで、一人ひとりが一生懸命考えていくしかない。企業の動きがあったときに市が支援していくということになると思う。SLは180人しか乗れないことや運行が1往復であることなど、花巻の街なか案内するタイミングが難しい。JRでも地域に波及するような活用を検討されていると聞いているが、市でも活用したいと考えている。当然花巻だけでは効果が薄いので、遠野市や釜石市との横軸の連携の中で効果を発揮して地域として全国に発信できるように協議している。最終的にはエージェントが乗ってくれるものを作れるかどうか。地域で連携して考えるのも大事だし、エージェントを巻き込むことも大事なので、今色々検討している。
2	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	秘書政策課	矢沢地区の位置づけについて	平成の大合併により矢沢が花巻市の東西の中心となった。旧花巻市の時と位置づけがどう違うのかをお聞きしたい。旧花巻市の東側にあった矢沢と位置づけが変わるのか。	物理的に中心であることはその通り。矢沢には新幹線の駅があること、賢治胡四王の森があることからも非常に重要である。農業の観点からも米もリンゴもあり非常に重要なところ。ただ、物理的に中心になったから新市の中心の地域として、旧市街地に代わってこちらに中心を持つてくるという考えは今はない。なぜかという、花巻市の人口が今は増えるということはないという時に、新しい市街地を作る体力が今の花巻市にあるか。また、市役所が今の場所から新花巻駅前に移った場合、今の旧花巻の市街地が間違いなく衰退する。それでいいのかということ。大事にしていく必要があると考えている。人口が減少していく中で、新しい市街地を作って旧市街地を見捨てる方法はないと思っている。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	こども課	学童クラブの充実について	矢沢小学校の入学生は徐々に減っているが、矢沢学童クラブに入りたい児童は年々増えている。働く保護者が増えているので、学童クラブを充実させることが子育て支援、安心して産み育てる環境への一助であろうと思う。そのことについて考えをお聞きたい。	今の時代は夫婦で働かないとそれなりの生活ができない状況になっている。保育園や学童クラブを充実させるのはとても大事だと考えている。十分な保育園を整備していかなければならないが、お金をかけて単に新しい保育園を作るのではなくほかの方法も考える必要がある。学童クラブも必要で、今の施設で十分でない施設はたくさんある。生活道路の要望が非常に多く、建物にかかる予算が少ないので、優先順位を決めていかなければならない。 学童保育については、各地区でそれぞれやっているので運営の仕方が全く違う。他市のいいところを参考にすることや学童クラブの運営について一定のガイドラインを定めることを検討している。学童クラブも充実させていきたいと考えている。
4	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	商工労政課	工業団地の造成について	せっかく誘致しようとしても土地がないという話があったが、現状の市の工業団地に限った話なのか、新たに別な適当な場所に団地を造成する予定があるのか。これまでは市の西側に団地が造成されていたが、ぜひ矢沢地域に企業誘致をお願いしたい。	今まで矢沢地区になかったのは土地が高いからではないか。3,000円/㎡程度で買わないと採算がとれないので、工業団地として売れない。高速道路からの距離などの条件も考えながら、広くて安い土地を今検討している。
5	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	生活環境課	太田油脂の公害について	太田油脂の公害について、現在の考え方をお聞きたい。	少しずつ臭いは減ってきているようだが、会社にできることをお願いして少しでも減らしていけるようにしたい。(太田油脂が)あるという前提で臭いを減らす方法を考えなければならない。
6	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	農村林務課	鳥獣被害対策について	リンゴの専業農家で、最近、鳥獣被害がひどく、今一番困っているのはハクビシンの被害。リンゴばかりでなく、家庭菜園のメロンやスイカなどの被害もある。市で罠を貸し出しているそうだが、捕獲した場合の処理はどうすればいいのか。被害や矢沢地区だけか、ほかの地区でもあるか。	市内各地で被害の話はある。クマは市長権限で11頭駆除できるが、それ以上は県の許可。檻を設置して捕獲している。人に危害を与えるということであれば対処できると思うので、農村林務課に相談してほしい。電気柵の補助金も出しているが、当初予算で足りなくなるので9月議会でも補正予算措置する。ハクビシンの罠は貸し出しているが、処分は申し訳ないがそれぞれでお願いしたい。
7	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	生活環境課	爆音機の使用について	以前は爆音機でカラスを追い払っていたが、周囲から苦情があるようで市の生活環境課からやめてくれと言われていた。民家周辺でなく山際だけでも使えればいいのか。	市民からの苦情で市や警察が言うのであって、使ってはいけないという法律や条例ではないと思うので、市でどこまでなら使っていいとも言えない。近所の方々が、使ってもいいと思うかどうか。
8	H26.8.20	市政懇談会 (H26)	矢沢	防災危機管理課	土砂災害の危険度について	広島で土砂災害があったが、花巻市でもその危険度を把握しているのか。土地の利用方法、建築確認も含め行政でしっかり対応してほしい。	危険箇所は岩手県で把握し、市に教えてもらっているという状況。市ではハザードマップに危険箇所を表示して、ホームページなどで公開している。 土砂災害の危険区域を県が指定する制度があり、花巻市の場合は湯口や湯本の川岸のほうから進めている。危険箇所指定された都度、調査に入る前に住民の皆さんに説明して、調査した結果を住民の皆さんにお知らせし、ご意見をいただいた後に指定するという流れ。 気象台と岩手県から情報があつた場合は、該当箇所を区切って携帯電話のエリアメールなどで避難準備情報を流すなど、まずは身の危険を守ることに対応していきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	農政課	定住人口について	花巻の基幹産業である農業でどのように定住人口を増やしていくか伺いたい。 【提言】 疎開先として花巻がなるように、予算を使い農地を整備して、震災等で花巻にいる人などを積極的に呼び込み30年程度住んでいただけたような施策をやっていたら、定住人口を増やすということも考えられると思う。	農業で定住人口を増やすということが可能かどうか分からないが、農業を家庭で続けていくことが重要。兼業の方も多いと思うが、60歳を過ぎて仕事を辞めた場合、今後年金だけで過ごすことは相当難しい。インフレになることもあると思うが、それに合わせて年金を増やすことはできないと思うので、外で働いていた方が戻ってきて農業をする場所がなくてはならないので農業を続けることが大事になってくる。 例えば、大迫ワインは非常に評判がいいが、ブドウ農家の高齢化で担い手がいなくなってきたので、よそから連れてくることも考えなくてはならない。今農林部が中心となり、支所で検討している。大迫に使っていない教員住宅等があるので、そこに住んでもらうことなども検討している。東和でも農地付き住宅が余っているものがあるので、同じようなことを検討している。太田地区にもそういう家が残っているのであれば、そういうことも考えていかなくてはならない。 今は空き家が大変な問題となっている。国が法律をつくって固定資産税の問題をクリアにしていたら、国の法律が出来た上で、市の条例を上乘せし、空き家を使って住みたいという場合に家の改造も含み市が援助できることも考えたい。やるとは断言できないが、よそから人が花巻へ来るようなことも考えていきたい。 提言については、気を付けなければならないことが2つある。1つは、お金が非常にかかること、2つ目は、大々的に被災者を誘致することを言えるかという問題。花巻にもたくさんの方が避難しているし、その方々へアンケートをしてみるとこれからも花巻へ住み続けたい方はいるが、沿岸被災地に悪い影響も与えかねないので、大々的にPRすることはよくないと思っているが、面白い提案ではあるので、今後農林部を中心に検討していく。
2	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	道路課	6次産業の取り組みとその拠点となる道の駅設定について	農業振興策として、担い手の育成や6次産業化の取り組みが重要である。特に6次産業化の拠点(湯口、太田、笹間地区などの西南3地区)として、道の駅の設定等をこれまでも要望しているが、今後の進め方を示してほしい。	本年4月に西南地域振興協議会、花巻農業協同組合、市で構成する検討会を実施している。現在、「道の駅」設置に向けての課題を整理し、まずは、地域が目指す「道の駅」像について同協議会から提案書をいただくこととしている。この提案書をベースに検討を進め、今後、基本構想、基本計画の策定を進めていくこととしている。
3	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	商工労政課	観光リンゴ園跡地を工業団地として活用することについて	定住人口の確保に向けた具体的な施策として、観光リンゴ園跡地などの耕作放棄地の活用策として、仮称第4工業団地の設置(第1から第3工業団地までは埋まっている)を検討してほしい。	現在整備基本計画策定の作業を行っているが、検討を行っている整備候補地の中に当該用地は含まれていない。工業団地整備用地の選定に当たっては企業の求める立地条件であることが最も重要な要件であり、耕作放棄地等未利用地活用の観点での検討はされていない。 市内の候補地の選定は終わっている。内部から広く選定地を吸い上げて検討を行ったが、その場合、企業が求める立地がありどれ位安い土地があるかが重要であり、市が整備していかにか安く広い(10haから20ha)土地を確保して、それにつながる幹線道路が近くにあるかが検討材料となる。 現在専門業者へ依頼して選定作業をお願いする段取りとなっている。
4	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	都市政策課	太田地区の公共交通について	清風支援学校への通学定期バス、小学校のスクールバス、また、高村光太郎記念館への観光バスは乗り入れがあるが、定期的な路線バス運行がないため住民、特に高齢者のために定期的な路線バスの運行を確保してほしい。	現在、太田方面の路線バスは清風支援学校止まり。かつては記念館に向かう路線バスがあったが、利用者の減少により平成23年10月で廃止された(代替でデマンドタクシーを試験運行したものの、利用者が少なくそれも24年度末で廃止)。 生活するための手段の確保を目的として、多額の公費支援により路線バスがようやく維持されている現在、もともと利用が少なく廃止された路線を観光目的で復活させることは難しいと考える。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	道路課	清水寺前の道路側溝について	姥宿公民館前の道路約30mくらいに側溝が入っていないところがあり、雨が降ると水があふれている。昨年度の市政懇談会でも要望していた。	昨年秋の懇談会終了後に現地で見学を取りました。また、整備にあたっては土木施設要望の優先順位に配慮して、整備を実施することとしているので、行政区長へ相談いただき、優先順位を上げていただかないと早期事業化はできない旨伝えていたと、了承をいただいた。 なお、側溝整備要望があったことについて、姥宿区長へも伝え、地区内で相談いただくようお願いした経緯があったがまだ、行政区からの要望がまだ上がってきていないため、行政区長と相談していただきたい。
6	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	スポーツ振興課	太田球場の整備について	太田球場の外野フェンス、ダックアウト、クラブハウスの老朽化となり、安全面を考慮しながら小さい修繕を行って使っている。スポーツ振興課にもお願いしてきたが、大きな修繕は市にお願いしたい。	担当課へ要望があったことは伝える。 →現況を確認のうえ、順次対応予定。
7	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	地域づくり課	コミュニティ会議の今後の方針について	コミュニティ会議に関し、新市長の今後の方針を伺いたい。	コミュニティ会議のしくみは継続しつつ、コミュニティ会議の代表者会議や市民の意見を伺いながら、コミュニティ会議の役割や地域づくり交付金などの検証を行い、課題の解決を行いながら、さらによりよい地域づくりのしくみとなるようにする。
8	H26.8.21	市政懇談会 (H26)	太田	防災危機管理課	土砂災害について	災害があった時の避難場所等について計画があるか伺いたい。	防災計画は作ってあったが、避難勧告の避難情報、避難勧告についての詳しいものがなかったので、基準を最近作った。市の防災危機管理課と消防が打ち合わせて、市民への情報提供について詳細を詰めている。9月か10月までに決めていただくよう指示をしている。
1	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	船着場付近の環境整備について	向田瀬と中通に舟が通っていた頃の船着場があるが、何十年も整備されていない。誘客の一つのスポットになると思うので、少しでも整備していただきたい。 最初に道路をきれいにしておくと地主の方も協力するのではないか。	現場を確認したが、大木の大山になっており、道路から湖面は見えない状態だった。整備するにはかなりの経費がかかるし、所有者の承諾や木の保証など難しい面がある。基本的に民地なので、地元の方々に協力してもらい、皆さんと検討しながらやりたい。 まずは、市の管理する(赤線になっている)土地の部分を伐採するのが先決で、全体的な整備は地元の方々と一緒に考えていきたい。
2	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	県道下宮守田瀬線の道路改良について	改良舗装工事が途中で止まっていて、田瀬ダム堰堤から宮守側約1,300mと田瀬側約600mが未整備である。堰堤工事の際の工事道路を現道舗装しただけで非常に狭く、乗用車同士がすれ違えない場所がたくさんあるし、大型トラックなども頻繁に走り交通量が多い。なんとか県に道路整備を働きかけてほしい。	昨年度も県に整備要望を出しているが、早期の事業化は難しいという回答だった。国道107号と国道283号の連携路線であり重要な路線であると認識しているので、今年度も引き続き要望していく。また、大型車が通るといことも伝える。
3	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	県道花巻田瀬線の改良について	谷内峠は、勾配がきつくカーブも多いので、冬期間は日陰で雪や氷が溶けないので滑って危険である。谷内峠をトンネル化する話もあったが、何か対策はできないか。	まずは除雪をしっかりとやることと融雪剤の散布を県にお願いしたい。
4	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	文化財課	伊藤家住宅のトイレについて	市の委託を受けて伊藤家住宅を管理している。多いときはバスで70名ほどの見学者が訪れることもあるため、固定のトイレを整備してほしい。現在は簡易トイレを設置しているがだいぶ老朽化している。 また、大型バスが来てもUターンが難しいので、駐車場を整備してほしい。(現在ある防火水槽の横に碎石を敷くなど)	伊藤家住宅の公開は5～10月で見学者は年間300人ほど。現在は地元のご好意で仮設トイレを設置していただいているが、老朽化している状況は把握している。新しく水洗トイレを整備するにはかなりの費用がかかる。新しい仮設トイレをリースにするか買い取りにするか、地域の方がと相談して更新したいと考えている。 バスの駐車場の確保については調べる。
5	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	田瀬ダム竣工60周年に対する市の対応について	関係機関の協力を得て、田瀬ダム完成60周年記念プロジェクトを進めている。田瀬地域が主体となって田瀬ダム移転のつどいを9月7日に開催する。 関連事業で記念誌を発行する予定だが、国の補助金もなく移転者に協賛金をお願いしている。 市としては、どのような取り組みを考えているのか。60周年を機会に、環境保全、福祉向上に積極的な取り組みをお願いしたい。	記念プロジェクトについて、市でもできることはしていきたい。 移転者のつどいには最初は支所長が出席するが、午後3時から市長が出席する。 これからの田瀬のあり方を考える必要があると考えている。田瀬振興公社の方々と一緒に施設のあり方、管理のあり方を考えていきたい。 田瀬を今後どうするか、何ができるかしっかりとついで考えていきたい。 観光面ですぐできる話ではないと思うが、国の動きは注目していきたい。

■平成26年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	東和総合支所地域振興課	田瀬地域の再生について	このままでは田瀬という地域がなくなる。なんとか若い人が残って生活できる状態にしてほしい。	東和総合支所の今年の重点目標は、土沢商店街と田瀬のこと。時間はかかると思うが、色々な意見をいただいて考えていきたい。
7	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	国体推進課	国体に絡んだ動きについて	H28年に国体が開催されるが、何か動きがあるか。	国体の開催に伴って道路を整備するというのではないと思う。田瀬湖のポートコースは評判のいいポート競技場なので、合宿など呼びたい。オリンピックの事前合宿を招致するのに、今の施設でいいか、何か整備が必要かなど市全体の施設を調べている。また、宿泊施設がどうかなども併せて調べる必要があるが、できるだけ呼びたいと考えている。
8	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	道路課	向田瀬線の道路改良について	H28年の国体で田瀬湖がポート競技の会場になり、全国から大型バスが訪れると思うが、すれ違いが困難な場所は道路の拡幅をお願いしたい。	大拡幅することになると、山を切り崩さなければならないし延長が長いので、莫大な経費がかかるが、国体のための整備経費は出ないので事業化は難しい。山側の拡幅は崖が崩壊する恐れがあるため、手をかけられない状態。現在は待避所が14か所あるので、それを有効活用できるように、案内看板や安全喚起の看板を設置することで対応を考えたい。
9	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	スポーツ振興課	海洋センターのトイレの洋式化について	海洋センターのトイレは男女とも和式のため、若い人たちは使いづらいと思うので、洋式トイレに直してほしい。	要望は担当課に伝える。 過去のインターハイ開催時は3,000人集まったが、仮設トイレを設置した。利用状況も合わせて検討することになると思う。 →国体開催までに改修予定
10	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	都市政策課	予約乗合タクシーの利用方法について	予約乗合タクシーについて次のことをお聞きしたい。 ①田瀬からほかの地域に転居した人が田瀬に行きたいときは使えるか。 ②田瀬からいったん土沢行き、そこから小山田線や中内線を利用できるか。 ③東和荘にはとまれないのか。	確認して対応できるようにする。
11	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	小中学校課	東和中学校のクラス数について	子どもが耳が聞こえないため東和中学校で特別支援学級に通っている。現在1年生は82人で3クラスあるが、2年生になると2クラスになる。特別支援学級の子どもも普通学級に入って勉強しているので、勉強についていけなくなると学校に行きたくなくなるのではないかと心配している。事情を考慮して来年も3クラスでお願いしたい。	中学1年生は少人数指導ということで35人、2年生からは40人のクラスになる。通常の学級と一緒に勉強する時は、ふれあい共育推進員を配置するなど学校とも協議する。
12	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	秘書政策課	ふるさと納税のセールスポイントについて	花巻市のふるさと納税は何をセールスポイントにしているのか。これからどれくらい力を入れていくのか。	寄付いただいたお金で、賢治さんに関連する施策や早池峰の観光施策などまちづくりに使おうと考えている。 今後さらに力を入れていくことで、6月補正で予算を計上し、1万円以上10万円未満の寄付で2,000円分、10万円以上の寄付で4,000円の市内特産品・加工品を贈呈する制度に変更した。 在京人会でPRしたところ、すぐに問い合わせもあり、申し込みも以前の数十倍に増えている。 市に寄付してもらって皆さんに使えるお金が増える。寄付者は花巻市出身の方がほとんどだと思うが、もっとPRしていきたい。12月からはクレジットカードでも寄付できるようにしたい。
13	H26.8.29	市政懇談会 (H26)	田瀬	地域づくり課	市政懇談会の回数について	今日のような企画は年に何回あるのか。	日程的にも難しいので、市政懇談会として市長が回れるは年に1回。市長でなく担当者が対応することであれば、状況に応じてできる。来年度のやり方で意見があればぜひ言っていただきたい。 総合支所には議会のある月を除いて月に1回来ているので、そちらにもどうぞ。